

No.	指定区分	名 称	写真	種 別	所在地	所有者・管理者	指定年月日
1	県	銅戈 ^{どうが}		有形文化財（工芸品）	久礼	久礼八幡宮	S59.3
				全長さ32.2cm、身幅の最大幅4.6cm、茎の長さ2.15cm、樋内に綾杉文が陽鑄されており、その下部に不正台形の孔をうがつ。錫が少なく、銅質は余りよくない。弥生時代の青銅利器の一つ。			
2	県	久礼の四国遍路板碑 ^{くれのしこくへんろいたび}		有形文化財（工芸品）	久礼	中土佐町	H15.2
				高さ90cm 1591(天正19)年美作の僧（円心）が四国遍路を七度成就し建立した逆修碑。			
3	町	海雲寺跡 ^{かいうんじあと}		有形文化財（史跡）	上ノ加江	網代部落	S51.10
				網代の山麓に西面して寺地が残り、立派な石垣が築かれ、北方と現在ある観音堂の前から西方下にかけて石段が残っている。平田氏の菩提寺と伝えられており、五輪塔残欠があるが伝承のみで資料的な裏付けはない。			
4	町	常賢寺跡・六部地藏経塚佐竹義直主従の墓 ^{じょうけんじあと ろくぶじそうきよわかつたけよしなおしじゆう ほか}		有形文化財（史跡）	久礼	西岡 忠臣	S51.10
				常賢寺跡には石垣、土塁、池跡が残り。佐竹義直逆修五輪塔及び主従の墓あり、歴代住職の卵塔もある。大門山脇上に砂岩製の経塚1713(正徳三)年、高さ107cm（一石一字経）、砂岩製約42cmの六体の地藏がある。			
5	町	観音堂 ^{かんのどう}		有形文化財（史跡）	矢井賀	矢井賀部落	S51.10
				矢井賀の浦分は1667年山内勝政が新たに開いたもので、それ以来、所領となった矢井賀にしばしば遊んだようで、港のすぐ上に建てられた観音堂からの眺めは格別で、眼下にひろがる海のながめを楽しんでいたようである。山内勝継も「潮音堂」と篇額を奉納している。			
6	町	久礼城跡(佐竹氏居城跡) ^{くれしるあと きたけしきよじのあと}		有形文化財（史跡）	久礼	久礼八幡宮他	S51.10
				海拔103.5mの城山の頂上に詰ノ段（佐竹神社）をかまえ、東西に一段低く土塁をめぐらした曲輪を設け、ゆるい傾斜をもつ東及び東南に幾重にも土塁をかまえ、北方下方にも曲輪をかまえる。堀切・堅堀・畝状堅堀があり、県下有数の規模をもつ城として注目される。			
7	町	オガタマノキ		天然記念物	久礼	中土佐町	S51.10
				モクレン科に属する常緑高木で幹は直立して多くの枝を出し、葉を密につけてよく茂り、木肌はなめらかであり、葉は長楕円形で厚く硬く光沢がある。また、ミカドアゲハチョウの寄生する木でもある。			
8	町	長沢大杉 ^{ながさわおおすぎ}		天然記念物	久礼	長沢部落	S51.10
				長沢部落の氏神である熊野神社の神木として崇められ、土地の人々達からは権現様の大杉として信仰されてきた。樹齢350年、胸高直径180cm、樹高35.0m			

9	町	く れ はちまんぐうしんじ ほうどうち 久礼八幡宮神事・奉堂地		無形文化財（民俗）	久礼	久礼八幡宮	S51. 10
				御神穀祭の名前で知られている久礼八幡宮秋祭りは県下屈指の祭礼であり、頭屋組織や祭事には古来の信仰や慣習が伝えられており民俗学的に注目すべき祭りである。			
10	町	ひろのじんじや おなばれ なちね 廣野神社御神幸(太刀練り)		無形文化財（民俗）	上ノ加江	廣野神社	H5. 3
				毎年、初午の日に奉納される。蜘蛛手、飛び手、十手、虚無僧、太刀打ちといった役者がそろう踊りである。地元漁師の青年が中心に踊る。			
11	町	あじろはなと おど 網代花取り踊り		無形文化財（民俗）	上ノ加江	網代部落	H5. 3
				廣野神社秋大祭10月 8日（御神幸）のおり五穀豊作に感謝し奉納される。小太鼓2名、大小太刀12名、踊りは10種類、唄は9種類ある。地元の小学生が中心に踊る。			
12	町	まつおじんじや はなと 松尾神社花取り		無形文化財（民俗）	矢井賀	矢井賀部落	H11. 10
				御神幸は塩払い、一の旗に続いて松尾神社奉寄進旗、鳥毛の長柄長刀、太刀を従えた御輿の行列を鼻高天狗が先導し参道を進む。その後に地元小学生を中心とした花取り踊りが奉納される。			
13	町	つたやもんじょ こもんじょ 蔦屋文書(古文書)		有形文化財（工芸品）	矢井賀	田所 弥助	S51. 10
				蔦屋が最も栄えたのは文化・文政時代で、古文書の大半は近郷近在の人びとに貸した証文で、弥助時代のものが最も多い。			
14	町	くまのじんじや ごしやうたい 熊野神社御正体		有形文化財（工芸品）	上ノ加江	熊野神社	S51. 10
				二面の御正体はいずれも円形の木心の上に金銅板を張りつけ、円形の二重圈を打ちつけて、内区と外区に分けている。いずれも背面に銘文があつて地方史研究上貴重なものである。			
15	町	わにぐち 鱧口		有形文化財（工芸品）	久礼	久礼八幡宮	S51. 10
				直径26cm、厚さ7.7cm、つくりは良好で鐘座には略式の八葉蓮花文が刻まれ 1 1 個の蓮子を中心に刻んでおり、1392(明徳三)年内蔵助春の銘文有り。			
16	町	やいが えま 矢井賀の絵馬		有形文化財（工芸品）	矢井賀	矢井賀部落	H11. 10
				松尾神社、大神宮、観音堂には幕末・明治・大正時代の漁業風景の他、芝居絵もある。民俗学的に貴重な資料である。			

17	町	さたけよしひでごりんとく 佐竹義秀五輪塔		有形文化財（工芸品）	上ノ加江	米川 靖	H5. 3	禅源寺跡入り口の山腹に上ノ加江城主・佐竹義秀とその奥方の墓と伝えられる砂岩製の五輪塔二基が祠の中に納められている。義秀の五輪塔は高さ108.8cm、奥方の五輪塔の高さ66cmでふたつとも様式は同じで、桃山時代のものである。
18	町	いけだしごりんとくぐん 池田氏五輪塔群		有形文化財（工芸品）	久礼	大坂部落	H5. 3	大坂の青木坂に池田氏一族のものと伝えられる墓所がある。約50坪の長方形の墓地床の上段に五輪塔、石仏などが一列に整然と並んでいる。墓所の右隅に祠があり、その中に池田信濃守のものと伝えられている位牌（102cm）が安置されている。祠の右隣に東林寺住職の卵塔が一基ある。
19	町	きたむらしごりんとくぐん 北村氏五輪塔群		有形文化財（工芸品）	久礼	大北部落	H5. 3	宗善寺跡西方山脇に北村殿とその家臣の墓といわれる五輪塔群がある。その中に南北朝時代のものと思われる御影石製の完形の五輪塔（高さ112cm）がある。各輪四面に刻まれた梵字は大きく深く活力があり、技巧に富んだ、すっきりした精美な五輪である。同所に五輪塔残欠、一石五輪塔が多数ある。
20	町	れきおうにねんめいだいしどうごりんとく 暦応二年銘大師堂五輪塔		有形文化財（工芸品）	久礼	神山部落	H5. 3	神山お大師堂入口の石段右脇に1339(暦応二)年銘の五輪塔がある。四面にあまり大きくないが風格のある梵字が刻まれており、高さ（101.3cm）である。暦応二年は南北朝時代で「暦応」は北朝方の年号であるため、当時、久礼を拠点としていた豪族が北朝方に属していた事が分かる。また、大師堂裏手には五
21	町	ながさわてんぶんせきぶつ 長沢天文石仏		有形文化財（工芸品）	久礼	長沢部落	H5. 3	往還添蚯蚓登り口御堂岡出土、1544(天文13)年紀年銘、半肉彫りの合掌した地藏菩薩像で高さ34cm、頭上に梵字、下部に簡略した蓮華座を刻んでおり、裏面と底面は整形である。
22	町	ませいせきふ 磨製石斧		有形文化財（工芸品）	押岡	中土佐町教委	H5. 3	押岡遺跡出土、縄文時代のもので長さ8cmの蛇紋岩でつくられた磨製石斧。
23	町	しょうとくはなたかめん 正徳鼻高面		有形文化財（工芸品）	久礼	久礼八幡宮	H17. 12	久礼八幡宮大祭の御神幸に使用する鼻高面（阿・吽相の二面）の裏側に正徳元年の墨書がある。銘文より1711(正徳元)年に、それまで使用していた面が傷んだので新しく作ったものであることがわかる。この鼻高面は1700年前後に「おなばれ」がおこなわれていたことを裏づけるもので貴重なものである。
24	町	くりかろうけん 俱利伽羅剣		有形文化財（工芸品）	久礼	久礼八幡宮	H17. 12	全長67.1cm、幅20.5cm、地金の厚さ0.1cmで重さは530gである。剣の先端部に「八幡宮御寶物」、下部に「佐竹義直（花押）」の文字が陰刻されている。この銘文より久礼城主・佐竹義直が久礼八幡宮へ寄進したものであることがわかる。

25	町	もっこうぼたんもんようからおりきれ 木瓜牡丹文様唐織裂		有形文化財（工芸品）	久礼	久礼八幡宮	H17. 12
				1836(天保七)年に書かれた『久礼村根居帳』は「蜀江錦 但織田信長公御着用佐竹家拝領之由申傳候則織田家紋織付御座候」と記している。39.5cm×41.4cm、47cm×48.7cmの大小2枚唐織裂には、木瓜紋が刺繍されており、織田信長と結びついたのではと思われる。しかし、佐竹氏と織田信長の関係は不明である。			
26	町	きっかさんそうかくきょう 菊花散双鶴鏡		有形文化財（工芸品）	久礼	上和田部落	H17. 12
				御神体として神社に伝わってきたもので径11.4cm、厚さ1.7cm、重さ370 g の和鏡である。室町時代。			
27	町	きっこうもんそうかくきょう 亀甲紋双鶴鏡		有形文化財（工芸品）	久礼	中土佐町教委	H17. 12
				押岡の白皇神社にあったと言われるもので径11.3cm、厚さ8mm、重さ350 g の和鏡である。室町時代。			
28	町	おくおおさかわにくち 奥大坂鱧口		有形文化財（工芸品）	久礼	奥大坂部落	H17. 12
				奥大坂地藏堂にあり鋳銅製、耳は片面交互式。径10.2cm、総厚3.8cm、肩厚3.0cm、室町時代。			
29	町	こやいがくまのじんじゃえまぐん 小矢井賀熊野神社絵馬群		有形文化財（工芸品）	小矢井賀	小矢井賀部落	H17. 12
				明治時代の鰹一本釣・鰺大敷網漁等当時の漁業風景を垣間見ることの出来る資料的価値のある物があり、また日清戦争、武者絵、大工道具を描いた絵馬もある。			
30	町	くまのさんざんほんじぶつかけぼとけ 熊野三山本地仏懸仏 あみだにょらいざそうかけぼとけ (阿弥陀如来坐像懸仏) (薬師如来坐像懸仏) (千手観音坐像懸仏)		有形文化財（工芸品）	大野見	竹原部落	H19. 5
				大野見竹原熊野神社に伝わる。あみだ、やくし、せん手。			